

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2011-86842(P2011-86842A)

【公開日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2009-240019(P2009-240019)

【国際特許分類】

H 0 1 F 19/00 (2006.01)

H 0 1 F 17/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 19/00 Z

H 0 1 F 17/04 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月19日(2012.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

端子台 1 6 は鍔部外方に突出して形成され、一方の端子台 1 6 A の上面はカバー 5 0 を載置する平坦部 1 7 を有し、この平坦部 1 7 にはカバー 5 0 の後述する係止爪 5 1 を係止する溝部 1 7 B を設ける。この一方の端子台 1 6 A にはカバー 5 0 を載置しその上面にコモンモードコア 4 0 を載置する。

またカバー 5 0 を載置する一方の端子台 1 6 A の高さは、カバー 5 0 を載置しない他方の端子台 1 6 B の高さよりカバー 5 0 の厚み分低く形成している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

またノーマルモードコア 3 0 は、中鍔部 1 4 の凹部 1 5 内に一端 3 0 A が挿入されこの一端 3 0 A が凹部 1 5 内の開口底面 1 5 A に突き当てられると共に、中鍔部 1 4 の凹部 1 5 の開口から突出する他端 3 0 B がカバー 5 0 により押接されるため、ノーマルモードコア 3 0 のより正確な位置決めができる。

【手続補正 3】

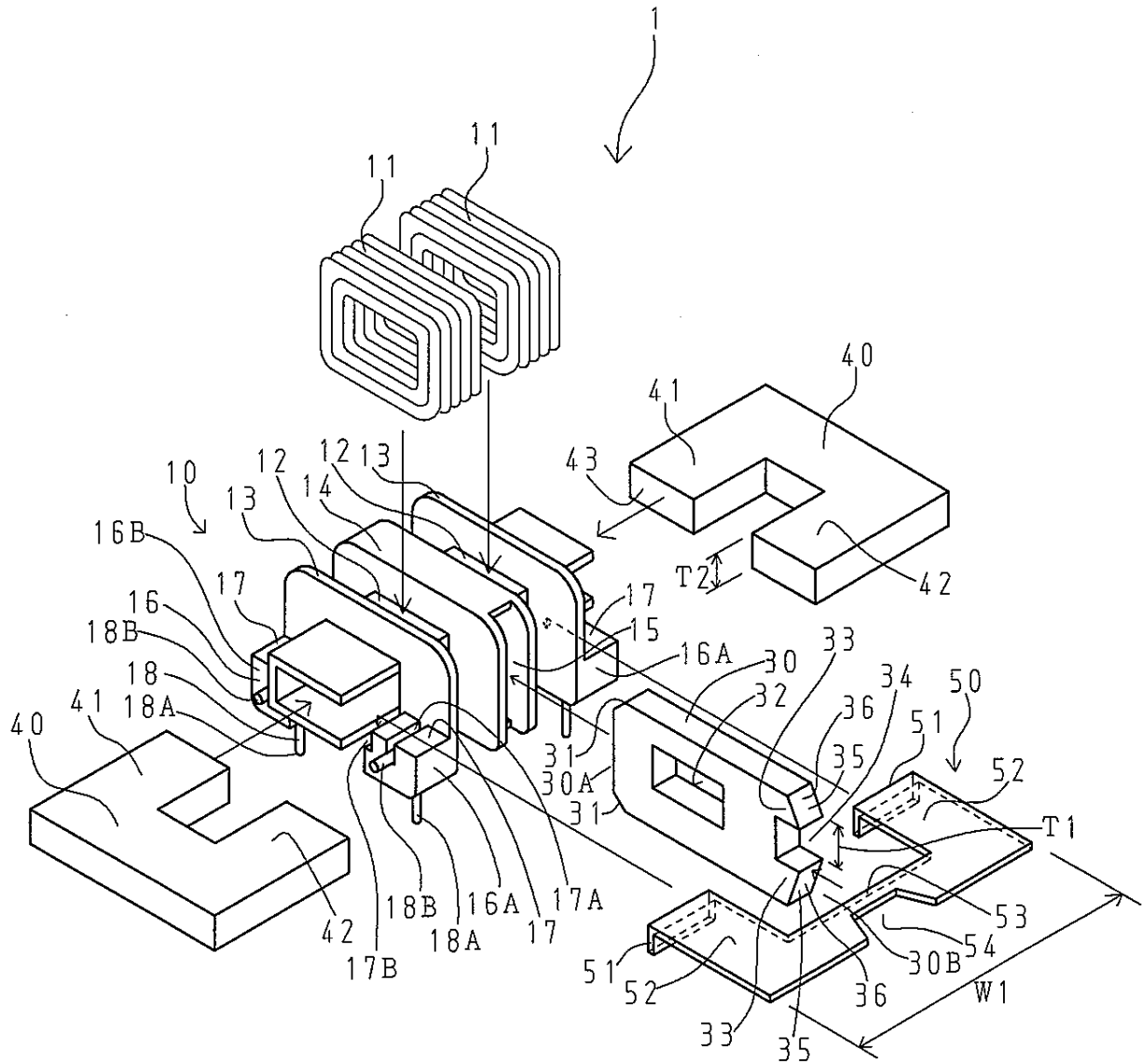
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 4】

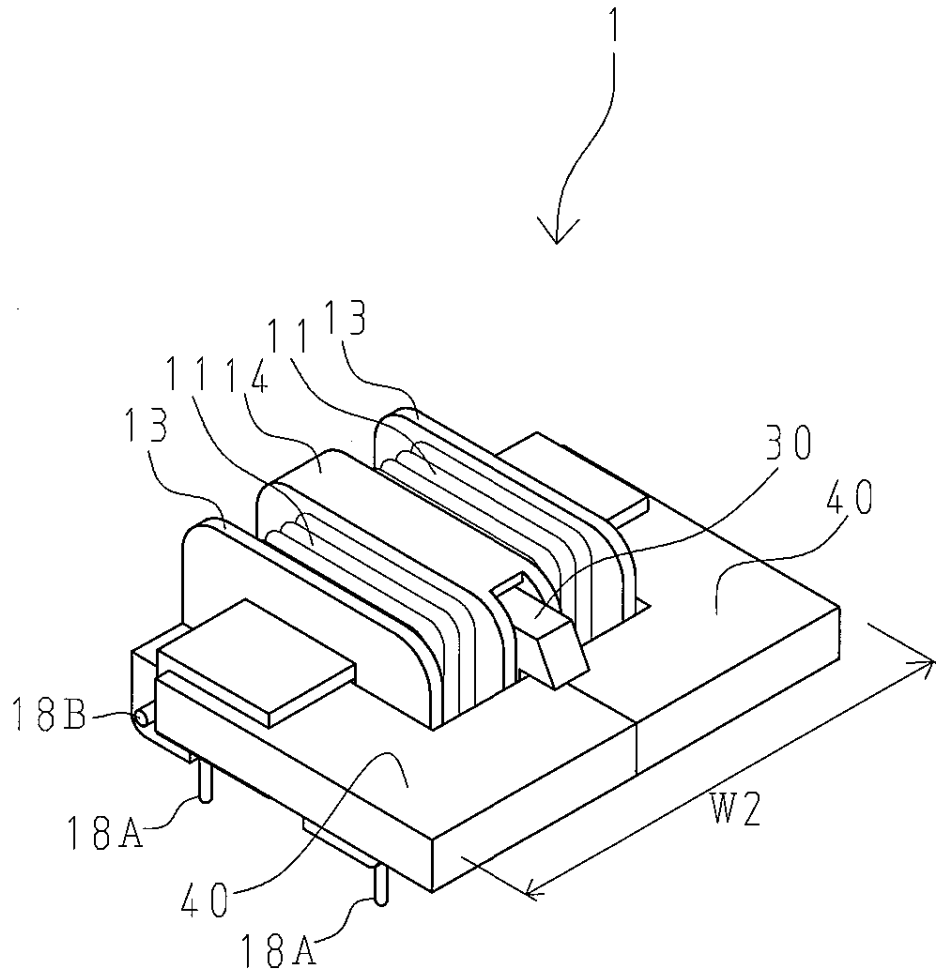
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

